

富津市在宅医療・介護連携推進会議 会議録

1	会議の名称	令和8年度第2回富津市在宅医療・介護連携推進会議																																														
2	開催日時	令和8年2月24日（火） 18時30分～19時30分																																														
3	開催場所	Zoomによるオンライン及び富津市役所5階 503・504会議室																																														
4	審議等事項	(1)各ワーキンググループにおける令和7年度の取組について (2)今後の在宅医療・介護連携推進会議の方針について																																														
5	出席者名	<p>(委員)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名（敬称略）</th> <th>参加方法</th> <th>氏名（敬称略）</th> <th>参加方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三枝 奈芳紀</td> <td>来庁</td> <td>竹内 修</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>北湯口 広</td> <td>Zoom</td> <td>熊切 篤</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>水町 裕義</td> <td>Zoom</td> <td>大島 拓二郎</td> <td>Zoom</td> </tr> <tr> <td>中野 匡</td> <td>来庁</td> <td>宮野 京子</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>西川 加代</td> <td>来庁</td> <td>野中 昌子</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>鈴木 真志</td> <td>来庁</td> <td>牧 達人</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>有江 直樹</td> <td>Zoom</td> <td>深牧 大輔</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>村田 泉</td> <td>来庁</td> <td>小幡 伸吾</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>門屋 千鶴</td> <td>来庁</td> <td>成田 孝文</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>藤野 雅一</td> <td>来庁</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(事務局)</p> <p>介護福祉課長 中山貴弘、 高齢者支援係長 西野雅則、社会福祉主事 佐久間瑛大</p>			氏名（敬称略）	参加方法	氏名（敬称略）	参加方法	三枝 奈芳紀	来庁	竹内 修	来庁	北湯口 広	Zoom	熊切 篤	来庁	水町 裕義	Zoom	大島 拓二郎	Zoom	中野 匡	来庁	宮野 京子	来庁	西川 加代	来庁	野中 昌子	来庁	鈴木 真志	来庁	牧 達人	来庁	有江 直樹	Zoom	深牧 大輔	来庁	村田 泉	来庁	小幡 伸吾	来庁	門屋 千鶴	来庁	成田 孝文	来庁	藤野 雅一	来庁		
氏名（敬称略）	参加方法	氏名（敬称略）	参加方法																																													
三枝 奈芳紀	来庁	竹内 修	来庁																																													
北湯口 広	Zoom	熊切 篤	来庁																																													
水町 裕義	Zoom	大島 拓二郎	Zoom																																													
中野 匡	来庁	宮野 京子	来庁																																													
西川 加代	来庁	野中 昌子	来庁																																													
鈴木 真志	来庁	牧 達人	来庁																																													
有江 直樹	Zoom	深牧 大輔	来庁																																													
村田 泉	来庁	小幡 伸吾	来庁																																													
門屋 千鶴	来庁	成田 孝文	来庁																																													
藤野 雅一	来庁																																															
6	公開又は 非公開の別	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公開</div> ・ 一部非公開 ・ 非公開																																														
7	非公開の 理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)																																														
8	所管課	健康福祉部介護福祉課 高齢者支援係																																														

	電話 0439-80-1300
9 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言要旨
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>皆さんこんばんは、定刻となりました。</p> <p>Zoom で参加の方は声聞こえますでしょうか。</p> <p>本日欠席される旨のご連絡をいただいている方を除き、お集まりいただいております。</p> <p>本日は Zoom によりご参加いただいている委員の方もおられます。</p> <p>聞き取りにくい等の支障がございましたら、遠慮なく手を挙げてアピールしていただければと存じます。</p> <p>会議を始める前に、配付資料の確認をいたします。</p> <p>お配りしたものは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 次第</li> <li>● 資料 1 - 1「各ワーキンググループにおける令和 7 年度 の取組について」</li> <li>● 資料 1 - 2「富津市オレンジカフェ」一覧</li> <li>● 資料 2 - 1「グループワークの手順」</li> <li>● 資料 2 - 2「グループワークシート」</li> <li>● 資料 2 - 3「在宅医療・介護連携推進会議年間実績（令和 6 年度）」</li> <li>● 資料 2 - 4「在宅医療・介護連携推進会議年間実績（令和 7 年度）」</li> <li>● 資料 2 - 5</li> <li>● 「令和 6 年度第 2 回 在宅医療・介護連携推進会議グループワーク意見取りまとめ」一覧</li> <li>● グループ分け名簿</li> </ul> <p>でございます。</p> <p>不足がございましたら、資料をお持ちいたしますので、挙手をお願いいたします。</p>

	<p>Z o o mでご参加の方は、事前に配布した資料をお手元にご用意していただきますようお願いいたします。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>また、本会議の傍聴についてお知らせします。</p> <p>富津市情報公開条例第23条第1項の規定により、市の付属機関等である審議会等の会議は一部の場合を除いて公開で行うべきものとされており、同条第2項の規定により何人も公開とされた会議を傍聴することができることとされており、</p> <p>この規定により、本日、会議を傍聴される方がいらっしゃいますので、ご報告申し上げます。</p> <p>また、傍聴人の方にお問い合わせ申し上げます。傍聴受付の際にお渡ししました傍聴証に記載してありますとおり、会議の進行を妨げる発言、行動をされないようお願いいたします。このような行為があった場合は、直ちに退席いただくこととなりますので、ご注意願います。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>それでは、ただ今より、令和7年度第2回富津市在宅医療・介護連携推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>また、議事録作成のため、会議の内容を録音させていただいておりますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>お手元の次第により、進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたり、竹内会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>竹内会長</p>	<p>皆さんこんばんは。お仕事お疲れのところですね、本日は会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>近頃はですねインフルエンザが減ってきましたけども、ア</p>

	<p>アレルギー性鼻炎が増えてましてですね、まあいろいろ外出いっぱいあるんですけども、ちょっと風邪ひきましてね、鼻風邪で聞きづらい点があるかもしれませんが、よろしく願います。以上です。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは富津市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱第6条に「会長は議長となる」と規定されていますので、竹内会長に議事進行をお願いいたします。</p>
<p>竹内会長</p>	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>初めに、私から本日の会議の議事録署名委員の指名をいたします。村田委員を議事録署名人に指名しますので、よろしく願います。</p> <p>それでは、会議次第に沿って、進めさせていただきます。</p> <p>(1)「各ワーキンググループにおける令和7年度の取組について」を議題といたします。</p> <p>事務局に報告を求めます。</p>
<p>事務局 (佐久間)</p>	<p>はい。それでは、在宅医療・介護連携部門ワーキンググループの取組について報告させていただきます。資料1-1「(1)各ワーキンググループにおける令和7年度の取組について」の1ページをご覧ください。</p> <p>令和7年10月9日にバイタルリンク操作体験会を実施しました。</p> <p>帝人ファーマ株式会社の伊藤秀司朗(いとう ひでじろう)様と藤原茂(ふじわら しげる)様を講師に迎え、バイタルリンクの説明及び操作体験会を実施しました。</p> <p>バイタルリンクの活用方法についての説明では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バイタルリンクは「電子上の連絡ノート」というイメージ。</li> <li>○担当者、関係者間で情報共有・閲覧が可能。LINEグループのような形でやり取りができる。</li> </ul>

担当者間で共通認識しておいた方が良い部分を主治医等が療養のポイントとして共有できる。

○バイタルや患者状態のデータを経時的に管理・確認できる。

○カレンダー機能を利用して空床情報を共有できる。

○ユーザー認証と端末認証の2要素認証で安全のシステム設計。機能の困りごとに安心のフォローアップ体制。

といった説明がありました。

続いて、バイタルリンクの操作体験会が行われました。

参加者1人から2人に1台ずつiPadを配付し、実際にバイタルリンクを操作することで、使用方法について知ってもらいました。

参加者の意見としましては、

○実機を使ってみることで、やり方がわかった。気づかないツールもあった。

○機能が沢山あり、共通して使えそう。

○共有できると助かるし、リアルタイムで知れるのは良いと思います。

○使い方は何となくわかったが、システムが良くわからない。

○仕事量が増える。必要かどうかわからない。

○利用者を担当している医師が、バイタルリンクを使用しているかわからない。

○入力基本情報などを1から入力する手間があるため負担が大きい。

システム請求業務など各事業所で違う。全国で統一したシステムであったら良かったのと思います。連携がとれたら素晴らしいとは思いますが。

○バイタルリンクを登録していない方向けの内容ではな

く、登録後の実践的なやり取りについて詳しく聞きたい。

○このような集まりの時にバイタルリンクの登録者を公開してほしい。

個別に介護福祉課へ問い合わせ、情報共有したい事業所が登録されていないとその事業所に登録を促さなければならぬのが手間。

登録を促した事業所が登録の申請をしたか介護福祉課に問い合わせ、申請されていないともう一度事業所に促さなければならぬ。

といったご意見がありました。

また、参加者から講師への質疑応答については、

参加者がネット情報を見ながら「国が 2030 年までに電子カルテの導入を目指す」とあるが、富津市ではいまだに紙カルテの医院が多く、本当に電子化されるのか？という質問に対し、電子カルテの普及状況はわかりかねるが、バイタルリンクは説明にもあったように電子化カルテとは別で、多職種のコミュニケーションツールとして、紙カルテの医院でも活用頂ける。

国もバイタルリンクなど ICT システムを活用することで、診療報酬の加算を取れるようにする動きがあるなど、今後も普及が進んでいくと思われる。

と回答。

スマホへのバイタルリンク設定方法を教えてほしい。（事業所では使っている方はいる）既に管理者の富津市には情報共有するルームを作るようお願い済みだが、インストールできず困っている。という質問に対し、

スマホの画面でアプリダウンロード済みだが、認証コード・アカウント・パスワードがわからないとのことで、富津市役所から認証コード・アカウントをお伝えすることとし、

スマホへのインストールマニュアル（紙）をお渡しし、ご自身で対応頂く。

と回答されました。

続きまして、3ページをご覧ください。

令和7年11月24日に実施しましたマイライフノート活用セミナーについてです。

千葉県行政書士会の川出久男（かわいで ひさお）様、藤岡雅光（ふじおか まさてる）様をはじめ千葉県行政書士会の行政書士の方々を講師に迎え、マイライフノートの活用及び相続に係る税金等についてをテーマに講義及びワークショップを実施しました。

マイライフノートについての講義では、富津市で発行しているマイライフノートを資料として、マイライフノートの活用方法について川出（かわいで）様から講義をしていただきました。

講義の内容としては、

○マイライフノートとは、遺言書ではなく自分の気持ちを整理するものであり、遺産相続を円滑に行うもの。

○遺言書を作成するには、マイナスの財産も含め自分で調べて把握しておくことが大切。

○遺産を誰にどれだけ相続させたいか遺言書に記載しておかないと、法定相続人が相続することとなる。

○遺言書には公正証書遺言書と自筆証書遺言書がある。

自筆証書遺言書は遺言者が全文自筆で作成する必要があったが、平成31年1月から本文のみ自筆、添付資料は各頁に署名押印すればコピーを使用可となった。

○認知症や知的障害などにより判断能力が低下した際に、自身の財産を守るため成年

後見制度を利用することも一つの考え方。

といったことが述べられました。

続いて相続に関する税金等については、藤岡様に作成いただいた資料及び富津市のおくやみハンドブック(一部抜粋)を使用し、亡くなった後の手続きに係る税金について講義をしていただきました。

講義の内容としては、

○亡くなった方の収入は、相続の開始があったことを知った翌日から4ヶ月以内に家族等が準確定申告をしなければならない。

○相続財産が基礎控除(3,000万円+(600万円×法定相続人の数))を超える場合は、亡くなった翌日から10か月以内に相続税の申告が必要となる。

○相続税の申告が必要な場合は、マイライフノートのP.12～13の資産情報に記入しておくが良い。

不動産は、市役所から届く固定資産税の納税通知書の一番後ろに所有している不動産の一覧が載っているため、コピーを貼り付ければ記入を省ける。

○借入金や葬式費用などは相続財産から差し引く。

○各申告のためにも亡くなった方の全データを集めなければならないので、本人が事前にマイライフノートに記入しておくことで残された家族が助かる。

といったことが述べられました。

講義のあとに行われたワークショップでは、講師のアドバイスを受けながらマイライフノートを実際を書くことに取り組んでもらいました。また、ワークショップ中には、参加者個別の質問について、講師の方に直接質疑を行っていただきました。

セミナー後のアンケートでは以下のようなご意見がありました。

○聞きたい事があったが書士の方の人数が少ない

○良い話ではあったが肝心な所が聞き取りにくかった

○個別の作業のときに相談を受けられたことが良かった。続きを知りたいと思いました。また開催してほしいです。いろんな事例をご存知だと思うので、講話だけでも良いと思います。

○短い時間の中で質問等させていただきわかりやすくアドバイスしていただきました。

○毎年マイライフノート、終活についてのセミナーに参加したいと思います。

○ワークショップの時間に知りたいことを聞いたのでよかった。質問を考えてきて参加するのがよいですね。

○準確定申告について知ることができてよかったです。

○時間がもう少しあったら良かった。マイライフノートの項目から、これから調べたり整理する事が見え、良かったです。

○大変お話がためになったので毎年開催してほしい。もう少し時間を長く、掘り下げた話をしてほしい。

○相続、遺贈等にかかる税金についてもっと知りたい。死後にしなければならない手続きがこんなに多くあるとは知らなかった。

○市内3ヶ所（富津・大佐和・天羽）でもう少し時間をとって行ってほしい。

このような、ご意見をいただきました。

在宅医療・介護連携部門ワーキンググループの取組については以上になります。

続きまして、認知症施策部門ワーキンググループの取組についてご報告いたします。資料の5ページをご覧ください。

令和7年11月29日に実施しました認知症メモリーウ

オーク・千葉in富津についてです。

当日は市民ふれあい公園の敷地内をパレード行進しました。

また、同日に市民ふれあい公園にて開催されたハッピータイムフェスにブースを出展し、10時から16時まで多くの一般来場者に啓発を行いました。

同ブースでは、明治安田君津営業部の協力のもと、脳年齢チェックも実施しました。

続きまして、認知症サポーター養成講座についてです。

令和7年度の実績として、令和7年4月2日に富津市役所令和7年度新規採用職員研修、令和7年10月30日に望みの門 京葉後援会、令和8年2月19日に富津市フレイルサポーターへ講座を実施し、新たに107名の方が認知症サポーターとなりました。

令和8年2月19日現在の市内サポーター数としては、3,846名となります。

続きまして、認知症初期集中支援チーム員会議についてです。

平成30年4月に設置され、医療・介護・福祉の専門職と専門医で認知症の早期発見・早期対応に向けた支援を実施しています。

現在までに初期集中支援チームとして関わっているケースは61名となります。

続きまして、オレンジカフェ（認知症カフェ）についてです。

資料の6ページをご覧ください。

認知症の人やそのご家族が地域の人や介護・福祉等の専門家と気軽に集い、家族の介護に携わる人の息抜きや情報交換をして、安心して過ごせる居場所として設置されています。

	<p>現在、市内に設置されているオレンジカフェは3か所となります。</p> <p>報告は以上となります。</p>
竹内会長	<p>はい、報告は終わりました。何かご質問とかございませんでしょうか。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>(なし)</p>
竹内会長	<p>バイタルリンクの説明会ですけども、これ参加者14人なってますけども、昨年もっと多かったような気もするんですが、これやっぱり日程の問題もあるんですかね。日程とか。</p> <p>多分昨年度は日曜日だった気がして、今年度は平日の夕方3時からだったのかな。そういう時間の問題もあるのかなと思ったんですけど、どうなんですかね。</p>
事務局 (西野係長)	<p>そうですね既に何年かにわたって開催しておりますのでまずこれまでの参加率ですとか、まず、介護事業所等の皆様のご意見を伺いながら、日程等については次年度以降、また検討してですね、皆様の集まりやすい日程時間帯に開催することとしたいと思います。ありがとうございます。</p>
竹内会長	<p>他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。はい。</p> <p>質問のないようでございますので、以上で議題(1)を終了いたします。</p> <p>続きまして、(2)「今後の在宅医療・介護連携推進会議の方針について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
事務局 (西野係長)	<p>はい。(2)「今後の在宅医療・介護連携推進会議の方針について」は、グループワークにて実施させていただきます。</p> <p>グループワークについては、事務局にて進行を引き継がせていただきます。</p> <p>それでは、お手元の資料2-1「グループワークの手順」をご覧ください。</p>

昨年度および今年度、各ワーキンググループの開催実績がないことから、在宅医療介護連携推進会議として、部会を一本化することを検討しております。

皆様からのご意見を伺い、今後の施策の参考とさせていただきたく存じます。

また、会議当日のお伝えとなり大変恐れ入りますが、グループワークの議題を追加させていただきたく存じます。

令和8年度に在宅医療・介護連携推進事業において開催を希望される研修や勉強会等について、皆様のご意見を頂戴できればと思います。

参考までに、資料2-5に昨年度いただいたご意見を掲載しております。

ですので、本日2点についてご検討をお願いいたします。

在宅医療・介護連携推進会議の部会が現在認知症部会と在宅医療部会の2つあるんですけれども、そちらを一本化するかどうかについてと、もう一点が令和8年度に開催を希望される研修や勉強会についてのご意見をいただければと思います。

なお、グループワークの時間は15分程度とさせていただきます。

それではグループワークの手順をご説明します。

まず自己紹介のうえ、司会進行と書記を決めてください。決め方の例として、司会は、本日、起きた時間がいちばん遅い方をお願いします。書記は、本日、起きた時間がいちばん早い方をお願いします。といった方法があります。

	<p>次に、配布資料の資料 2 - 2 「グループワークシート」を使用していただき、お一人ずつご意見を挙げてください。</p> <p>昨年度及び今年度の実績については、資料 2 - 3 ・ 2 - 4 の「在宅医療・介護連携推進会議年間実績」にごさいますのでご参照ください。</p> <p>グループ内全員の発表が終わりましたら、グループとしての結論を出すため、協議いただきたく存じます。</p> <p>15分ほど経ちましたら、お時間の許す限り、司会または書記の方にグループ内でどのような意見が出たのか、また、グループとしての結論の発表をお願いいたします。</p> <p>大変お手数ですが、会議の終了後、書記の方はグループワークシートを事務局へご提出お願いします。</p> <p>説明は以上となります。</p> <p>それでは、ただいまから 19 時 10 分頃までを目安に各グループにてグループワークを開始していただきたくお願いいたします。</p> <p>竹内会長におかれましては、お手数ですが、グループ B の机にご移動いただきまして、ご参加いただければと思います。</p> <p>それでは、どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>Zoom でご参加いただいている方については、今からブレイクアウトルームを作成いたしますので、そちらの方で Zoom 上で、ご意見等をお伺いいただければと思います。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p>
	<p><b>【グループワークの実施】</b></p>
<p>事務局 (西野係長)</p>	<p>グループワーク残り 1 分となりました。</p>
<p>事務局</p>	<p>それではお時間となりました。</p>

<p>(西野係長)</p>	<p>それでは、まずグループ A から 1 グループずつ順番に発表いただければと思います。3 分程度で発表いただければと思います。</p> <p>内容については、先ほど申しました通り、在宅医療・介護連携推進会議の部会を一本化することについてのご意見と、もう一つが令和 8 年度に希望される研修・勉強会等について皆様からご意見いただければと思います。</p> <p>これからマイクを持って、A B C D 最後に Zoom のグループの方にも発表いただこうと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それではマイクをお持ちします。</p>
<p>グループ A (村田委員)</p>	<p>はい。すみません。A グループです。</p> <p>A グループではワーキンググループは分けない方が良いのではないかという意見になりました。</p> <p>やっぱりどっちかっていうと情報共有が全くできない中、トップだけが全部話し合っ、みんな実行の人たちがグループでやっているっていうそういう中では、あまり有効性がないのではないか。なので分けるっていうよりも分けないでやってほしいっていうことですね。</p> <p>あとは希望する研修に関しては、フレイルを予防できるという中で、やっぱりどっちかっていうと今市民が困っていることをリアルタイムで挙げていく研修会がいいんではないかっていうことと、あとケアマネが知っていても医療は知らない、医療が知っていてもケアマネが知らない、そういうことが多いので、そういったものを題材として研修の方で使ってほしい。</p> <p>また、バイタルリンクの方なんですけども、バイタルリンクが今現在どれぐらい使われているか、富津市内でどれだけ有効に使っているのかっていうのが、実際に見てどこがどれ</p>

	<p>ぐらいにっていうのが知りたいっていうところと、あと、今回バイタルリンクの方では基本情報を入れなくちゃいけないんですが、その基本情報入れる人が誰って決まってるわけではないので手挙げた人が全てを担ってしまうので、バイタルリンクにかかる動力が大変。</p> <p>ただ、あればすごくリアルタイムで病状が伝えられ、それを生かした介護ができていくのではないかということです。</p> <p>やっぱり強制能力がないので、今現在どれぐらい入っているかわかんないんですけれども、ちょっと穴抜き状態で使いつらっていうのがあると思います。</p> <p>あとオレンジカフェに関しては、知っている人の方が少なく、それも専門性がある何か題材を挙げてそれを講義しますよとか、そういう宣伝をしてあげるとオレンジカフェに集まることあるんじゃないかっていうことで、まあそれが希望する研修内容の方で、お願いしたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>グループ B (門屋委員)</p>	<p>訪問看護ステーションわくわくの門屋でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>Bグループの方の発表をさせていただきます。</p> <p>まずワーキンググループは分けないという話になりました。</p> <p>理由としては、個別の部会はあまりやっていないということや、話し合いの回数も少なく、皆さんで意見を出し合った方がいい会議ができるのではないかっていうことが理由として挙げられました。</p> <p>希望する研修の方なんですけど、まずここ数年バイタルリンクをやっているような状況なんですけれども、それぞれクリニックさんとか、うちのステーションもそうなんですけど使ってるソフトがやっぱり違ったりするので、その中でバイタル</p>

リンクを取り入れるとさらに日常の生活で使ってるソフトをそちらの方に転記しなくてはいけないとか、ちょっと負担がいろいろ出てしまうということでもなかなか浸透しづらいのではないかとということが意見として出まして、そこを上手くクリアできていったらどんどんバイタルリンクも普及されるのではないかと浸透していくのではないかっていうお話がありました。

それ以外なんですけどマイライフノートは良かったと思うのでこのまま継続していきたいっていう意見があります。

あとは虐待の研修が昨年2月ぐらいいあったと思うんですけど、あれはとても良かったので、弁護士さんとかに来てもらって、お話してもらえたらっていう意見がありました。

あと確か2年ぐらい前の次年度何にしようかってこういった会議の中で出てたと思うんですけど、災害時の医療・介護の連携ということがテーマとして上がっていて、福祉避難所の話であったりとか、実際に昨年7月にこちらでも津波警報が出ましたので、その時に医療・介護としてどう連携していくのかっていうことで、あまり話をこの場でされてはいなかったなという意見がありまして、直接7月の津波のときも一応市役所が避難所というふうになってたんですけど。実際1人市役所に行きたいっていう方がおられまして、大貫の海岸からこちらにお連れしたことがあったんですけど、道路がすごい混んじゃってて、とても到着できないような状況だったんですね。

ただ事実としてそういうことがあったりするんで、この災害っていつ来るかわからないし地震だの津波だのって言われてますのでその辺のところ、例えば、実際その能登の方のお話を聞く会とか、そうですねこういう風にされた方がいいよとかっていうことをお話聞けたらいいかなっていう意見が

	<p>ありました。</p> <p>以上です。</p>
<p>グループC (成田委員)</p>	<p>Cグループ、大佐和包括の成田と申します。よろしく願 いいたします。</p> <p>こちらのグループでもですね、ワーキンググループのとこ ろは、まず分けない方がいいのではないかという話が主に出 ておりました。</p> <p>これまでも活動されている中でも実際頻度も関係してい るのかもしれないですけども、どういう風に分かれているか 分かりづらかったり、内容の方が把握しにくいなどありまし て、既に関連の皆様方はもう顔もわかり合えているので、そ れぞれ分野でわかれているよりは一緒に話し合っ情報共 有やらお互いの意見を出し合っいけた方がいいのではない かということで一本化という意見が多くなっています。はい。</p> <p>あとですね、バイタルリンクのところも実用化されていな いというところも一部、全体的なところっていうよりはグル ープワークの中での話があった中のものなんですけどけど も、そういった面もありますし、もし今後普及が進まない部 分もまだあるのであればっていうところも踏まえて、ただバ イタルリンクのシステムの前にも同じようなシステムがあ った時期もあったのを覚えている方もいらっしゃるし、 そういった面では、普及までの労力が結構あるんですけど も、実際基本情報とか入力したものがあれば動き出せば非常 に有効的だということで、何とかそこに軌道に乗るまではで すね、継続的にバイタルリンクの研修なども継続していただ ければということで、研修自体はバイタルリンクをメインに 議題として上がっていたものになります。</p> <p>かつ、バイタルリンクに関連して介護の分野では、ケアプ</p>

	<p>ランデータ連携システムが今進んできている中には、そちらの方も希望ですけれども、そういった面の介護の方のシステムと連携とかリンクができたならより良いのではないかという話も実際出ています。</p> <p>あとはそういったバイタルリンクのシステムがあれば、実際には専門職の方とか、病院の先生方の方にもタイミングを合わせる手間も、それほどかからず情報など共有できるという非常にメリットもあるということでぜひ活用を目指して行きたいという希望もありますけど、そこに至るまでの過程がなかなかまだ準備が必要だということで、できれば関連する研修を継続してやっていただきたいという意見となっております。</p> <p>以上です。</p>
<p>グループD (藤野委員)</p>	<p>Dグループの天羽包括の藤野です。いつもお世話になっております。</p> <p>Dグループは、初めの一本化か分けるかということに関しまして、実はちょっと私達包括は両方出てるもんでピンとこなかったんです。で、行政のほうに聞いたところ、認知症の方がここ最近やれてないっていうこともあって、であるならば、一本化というよりは、双方が合体して一つになって、より深いそれから広い議論ができたらいんじゃないかなって。</p> <p>っていうのは、認知症メモリーウオークなんかっていうのは、その単独じゃなくて多くの方の頭と手を借りた方がもっともっとう盛り上がってくんじゃないかなということで、一本化っていうのは、双方が一体化しての一本化がいいんじゃないかという意見が出ました。</p> <p>それで、研修に関しては4つ出ました。まず初めは、バイタルリンクに関わらず、ICTの勉強会。</p>

これは、これからますます人材不足が深刻になっていくこの介護業界において、ちょっと軽率な言い方になっちゃうんですけど、若い子たちにもこういったツールを使ってやれば「あーケアマネってこんなかっこいい仕事なんだ」とかそういうね、いい部分をもっとアピール。

今我々が困難に思っていて「ケアマネやりたくないなー」なんていう思いを持ってる方たちも、そういった思いが払拭するような活用の仕方を勉強、そしてみんなで検証して行って、こんな活用方法もあるんじゃないかっていうことを深めるような勉強会がやれたらどうなんだというようなことと、それから引いては人材確保に繋がるっていうことを信じて考えたんですけど。

それから二つ目が、バイタルリンクに関して今も各グループからいろいろ意見出ましたけど、まだ富津においてはあんまり実践例ってないってのが私の印象なんですけど。ね。

なので、特に木更津は薬剤師会の方がかなり一生懸命やってメンバーも増えていて、コメントを入れると、薬剤師会の木更津の方がばーっと読んでくれるっていうのは実感としてあるんですけど、なので木更津も含めて、他市でどんなような活用をされていてどんな効果があったということと呼んでいただいて勉強すると、我々ももう一歩二歩進んでこれを活用できるっていうような状況になるんじゃないかなという意見がありました。

だからマイライフノートに関して実際にもこれちょっと抽出が難しいんじゃないかっていうこともあわせて出たうえなんですけど、マイライフノートを使ったことでこんな効果があったよ、本当だったらこんなトラブルになるところが回避できたよなんていう実例も含めて深められたらいいななんていう意見も出ました。

	<p>そして最後に、Bグループからもありましたけれども、BCP、各事業所つくってると思うんですけど、災害時の対応について検証がしたいという、これは大きな東日本それから能登の地震もそうでしたし、富津市は台風15号で大変大きな被害を受けました。</p> <p>そのときにどんな動きをとっていたのかっていうことをみんなで周知する。</p> <p>15号のときは道路が分断して、我々、行政のほうから連絡があって、安否確認をって言われて行くんですけど木が倒れてて、進めなかったなんてこともあってそれはもう行政のほうにはバックしたんですけど、同じ事態が同じような災害でもう一度起きたときに、我々支援者も安全を確保しながら、どう住民を手を差し伸べていくかっていうことに関して、大きな災害の実例を検証しながら来たるべき災害に富津市として、カウンターを取っていくような研修できたら大変意味があるんじゃないかというふうな4つの意見が出ました。</p> <p>以上です。</p>
事務局 (西野係長)	<p>続いて、Zoomグループの皆様から発表をお願いしてもよろしいでしょうか。</p>
Zoomグループ (大島委員)	<p>はい、大塚薬局 大島です。よろしくおねがいします。</p> <p>Zoomグループではですね、統合については問題なく1つにした方が良いでしょうと。</p> <p>結局、在宅も認知症も切っても切れないものなので、わざわざ分ける必要がないというところで考えがまとまりました。</p> <p>また、今後どういったものをしていくかというところに関しては、在宅の看取りというところをもうちょっと深掘りしたような研修があっても良いんじゃないかということが1</p>

	<p>つ。</p> <p>あとはですね、バイタルリンクの方に話があったんですけど、結局やっぱり「バイタルリンクを活用實際してる？」っていう話になって、「まあしてないよね」と。</p> <p>やっぱりこれは根本的に問題があるから広がらないんじゃないかというところで、初めに戻って問題を洗い出す必要があるんじゃないかと。</p> <p>使える端末が一つだっていうところだと見ないよねっていうところもあります。</p> <p>そういったところでじゃあ他のバイタルリンク以外のもはこういったものがあってどうしてそっち使ってるんだろうといったそういった情報もあってもいいのかなっていうことが、1つありました。</p> <p>あとは、実際 LINE WORKS とかを使ってる事業者さんなんかもあって、そっちの方が全然使いやすいみたいなこともあるので、そういった実際使ってる事業者の方が少しこういったところでやりやすいみたいな話があるといいのかなということをお話し合ってみました。</p> <p>以上です。</p>
<p>事務局 (西野係長)</p>	<p>皆様貴重なご意見、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、竹内会長に再び進行をお願いできればと存じます。</p>
<p>竹内会長</p>	<p>はい、以上で各グループからの発表は終わりました。</p> <p>皆様から何かご意見ご質問ありませんでしょうか。いかがでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>いただいた意見からですね、来年度以降のワーキンググループは一本化する方針で進めてまいります。</p> <p>以上でグループワークは終了いたしました。</p>

	引き続き、議題(2)について事務局に説明を求めます。
事務局 (西野係長)	<p>はい。昨年度、皆様からご提案いただいた資料2-5「令和6年度第2回在宅医療・護連携推進会議グループワーク意見を取りまとめ」一覧の中で今年度進められていないものもございます。</p> <p>また、先ほどのグループワークの中で沢山意見を頂戴いたしました。</p> <p>新しい研修のご提案ですとか、今行っている研修についても改善点等たくさんのご意見を頂戴しましたので、そういったところを考慮しながら、来年度も継続あるいは改善してまいります。よろしく願いいたします。</p>
竹内会長	<p>はい、報告は終わりました。</p> <p>何かご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうかね。</p> <p>質問ないようでございますので、以上で本日の議題は全て終了いたしました。</p> <p>委員の皆様から「その他」で何かございますでしょうか。</p>
委員	(なし)
竹内会長	事務局から何かありますか。
事務局 (西野係長)	はい。
竹内会長	はいどうぞ。事務局どうぞ。
事務局 (西野係長)	<p>2点、ご連絡いたします。</p> <p>1点目です。本日の会議録等は、市のホームページへ公開いたします。準備ができましたら、メール等で委員の皆さまへ周知いたします。</p>
事務局 (西野係長)	<p>2点目です。マイライフノートにつきまして、先日、委員の皆さまに修正点などの照会をさせていただきましたが、現在令和8年度版を作成中です。4月末頃には完成予定ですので</p>

	<p>で、ご承知おきください。</p> <p>以上です。</p>
竹内会長	<p>はい、それでは、以上をもちまして、令和7年度第2回富津市在宅医療・介護連携推進会議を終了いたします。</p> <p>お疲れ様でございました。</p>
事務局 (中山課長)	<p>Zoomで参加の皆様につきましては、各自退室の方をお願いいたします。</p> <p>ご来庁されている方につきましては、正面玄関、職員通用口どちらからでもお帰りいただけます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>